

Seya 50 years Anniversary Magazine

瀬谷

思い出も 未来も共に この瀬谷で



瀬谷区制 **50** 周年記念誌



目次

ごあいさつ -----	1	50周年記念事業の概要 -----	21
まえがき -----	2	記念式典・二ツ橋公園イベント -----	23
瀬谷区50年のあゆみ -----	3	実行委員会主催の取組 -----	25
瀬谷12地区の魅力紹介 -----	5	共催事業・後援事業 -----	27
わたしたちのまち 瀬谷 -----	17	瀬谷区制50周年記念事業に御協賛いただいた皆様	37
未来へ向け、花と緑あふれるまちに	19	瀬谷区制50周年記念事業実行委員会名簿	39
未来への想い、瀬谷への想いを込めて	20		

ごあいさつ



実行委員会委員長

網代 宗四郎

瀬谷区が区制50周年を迎えたことを、区民の皆様とともに喜び申し上げます。昭和44年10月1日に戸塚区から分区して、50年の歳月が経ったことを大変感慨深く思っています。

また、区制50周年記念誌の発行にあたり、御理解と御協力をいただきました関係諸団体や区民の皆様に、心より感謝申し上げます。

瀬谷区制50周年記念事業実行委員会では、50年という節目の年を区民の皆様とともに祝いするため、さまざまな記念事業を行ってまいりました。みんなが「つながる」、みんなに「つたわる」、あしたに「つなげる」をテーマに、地域・関係団体・企業のお力添えのもと、地域を超え、世代を超え、障害のあるなしに関わらず、多くの方の心に残る素晴らしい事業が展開できたことを大変嬉しく思います。

瀬谷区は地域の繋がりが強く、あたたかく暮らしやすいまちだと実感しております。これから先の50年も、私たち区民が住み続けたいと思える場所であることを願っています。

なお、この記念誌が、瀬谷の歴史と未来に思いを馳せていただくきっかけとなれば幸いです。結びに瀬谷区のますますの御発展と区民の皆様の御健康と御多幸をお祈り申し上げます。



横浜市長

林 文子

区民の皆様、関係団体、企業等の皆様の大きな御支援により、瀬谷区制50年の節目を迎えられましたこと、心より感謝申し上げます。

瀬谷区は、昭和44年の行政区再編成により、戸塚区から分区して誕生しました。区内には歴史を伝える多くの史跡や多様な地域資源のほか、豊かな水と緑の潤いが感じられる、横浜市内でも恵まれた自然環境が多く残されています。歴史や自然を感じられる、多彩な魅力をもつ区として発展してまいりましたのも、区民の皆様の御尽力の賜物です。

待望の相鉄・JR直通線が、計画認定から13年をかけ、遂に開業を迎えました。区民の皆様の東京都心部への所要時間が大幅に短縮され、利便性が高まります。瀬谷区に新たな活力と賑わいをもたらす瀬谷駅南口第1地区の再開発も、再開発組合の皆様と協力し、令和3年度の竣工に向け、着実に進めております。また、2027年の旧上瀬谷通信施設への国際園芸博覧会招致も見据えたまちづくりを、更に推し進めてまいります。

今後も、瀬谷区、そして横浜市の魅力を皆様に実感していただけるよう、力を尽くしてまいります。変わらぬ御支援、御協力をお願い申し上げます。

瀬谷区民の皆様の今後ますますの御健勝と御多幸を、心より祈念申し上げます。



瀬谷区長

森 秀毅

このたび、瀬谷区は区制50周年を迎えました。記念式典や地域における記念行事などのイベントは大変盛り上がり、瀬谷区を祝うにふさわしい、素晴らしい年になったと感じております。これもひとえに区民の皆様や、関係団体・企業の皆様の御支援、御協力の賜物と心より感謝申し上げます。

瀬谷区が誕生して以来、先人達の英知と努力により、地域と行政が一体となって、暮らしやすいまちづくりが進められてきました。瀬谷区は自然豊かな区であるとともに、温かな地域のコミュニティに支えられ発展を遂げてきました。また、平成27年には上瀬谷通信施設が日本に返還され、国際園芸博覧会の招致や土地利用の検討が開始されるなど、今後大きく変化し発展していきます。

区制50周年のキャッチフレーズである「思い出も 未来も共に この瀬谷で」に込められた思いをもとに、これからも瀬谷の魅力を次の世代へつなげていくとともに、幸せが実感できる瀬谷のまちづくりを進めてまいります。

区民の皆様には引き続き、瀬谷区政へ御理解、御協力いただきますようお願い申し上げます。

水、緑が豊かなまち

「瀬谷」



瀬谷区の成り立ち

横浜市の最西部に位置し、南北に細長い地形で、東側は旭区、西側は大和市、南側は泉区に、北側は緑区及び町田市にそれぞれ接しています。面積は17.11km²、人口は122,166人(令和元年10月1日現在)で、市内18区中、いずれも16番目となっています。

瀬谷は農業地帯として発展し、明治30年代以降は養蚕業が盛んな地域でした。大正15年に神中鉄道(現 相鉄本線)が開通、宅地化が

進み人口も増加しました。昭和30年代に公営住宅が建設されはじめ、田園・農村都市的な性格に東京や横浜などの都心部のベッドタウン的性格が加わるようになりました。

その後、昭和44年10月1日の行政区再編成にともない、戸塚区から分区分して瀬谷区は誕生しました。区名は、古くからの地域名である瀬谷に決まりましたが、公募では「西浜」も瀬谷に並んで多く寄せられた区名でした。

豊かな自然環境に育まれたまち

瀬谷からは、富士山や大山・丹沢の山々の四季折々の美しい姿を楽しむことができます。開発が進む中でも、川や森・林などの自然が多く残されており、区民の自慢のひとつとなっています。

瀬谷は「狭い川瀬の小谷のある地」、「狭谷」が地名の由来といわれています。

南西になだらかに下る相模原台地に、境川とその支流が谷戸を刻む地形で、区内には5本の川が南北に流れています。区の真ん中を流れる相沢川には、川沿いを散歩できるプロムナードがあり、豊かな自然と水の音を同時に楽しむことができます。

また、旭区との境にある瀬谷市民の森付近を源流とする和泉川は、約2.8kmの区間に6つの水辺があり、区民の憩いの場となっています。水辺の植物・生物の観察に適した環境が整っており、絶滅危惧種の生息も確認されています。

さらに、瀬谷区の北部には平成

27年6月に日本に返還された旧上瀬谷通信施設があります。区の面積の約14%を占めており、総面積は約240haになります。この旧上瀬谷通信施設の中央を縦断するように真っ直ぐ伸びた「海軍道路」の長さは約3km。沿道に約400本の桜が植わっており、春には桜の花のトンネルを楽しむことができます。今後、旧上瀬谷通信施設では国際園芸博覧会の招致を見据えたまちづくりが進められ、瀬谷区は大きく発展していくことが期待されています。



瀬谷区50年のあゆみ



ウド栽培(昭和48年頃)/横浜市史資料室所蔵



富士見通り商店街(昭和45年頃)/横浜市瀬谷図書館所蔵



大久保原遺跡(昭和52年)
/横浜市瀬谷図書館所蔵



和泉川山王橋付近(昭和56年)
/横浜市瀬谷図書館所蔵



瀬谷区役所(昭和46年)
/横浜市史資料室所蔵

昭和44年(一九六九)
10月1日
▽行政区再編成により瀬谷区が誕生(面積17.11km²、世帯数20,318世帯、人口71,733人)
瀬谷町・二ツ橋町・三ツ境・宮沢町・新橋町の一部を編入した阿久和町の5町で構成

昭和46年(一九七二)
▽6月 瀬谷区総合庁舎が二ツ橋町190番地に完成
▽7月 瀬谷区公会堂開館

昭和49年(一九七四)
▽4月 瀬谷区民会議発足

昭和51年(一九七六)
▽4月 瀬谷市民の森がオープン

昭和52年(一九七七)
▽3月 瀬谷区休日急患診療所開設

昭和53年(一九七八)
▽7月 区の推計人口が10万人を突破

昭和54年(一九七九)
▽10月 瀬谷区制10周年記念誌発刊
▽11月 瀬谷区制10周年記念式典を挙行

昭和55年(一九八〇)
▽3月 瀬谷町・旭区上川井町・緑区長津田町の一部より、卸本町が新設され、現在の区域となる。
▽11月 瀬谷センター(瀬谷地区センター、老人福祉センター「瀬谷和楽荘」)開館

昭和59年(一九八四)
▽10月 瀬谷区制15周年記念式典を挙行(瀬谷区の花・木・鳥を制定、記念像の建立、記念誌発刊)

昭和60年(一九八五)
▽1月 瀬谷図書館開館
▽6月 瀬谷中央公園開園

昭和61年(一九八六)
▽10月 三ツ境駅北口周辺整備が完了

昭和62年(一九八七)
▽11月 瀬谷スポーツセンターがオープン

昭和63年(一九八八)
▽4月 丸子中山茅ヶ崎線(南台入口〜国道16号間)が4車線整備
▽8月 瀬谷区のシンボルマークを制定

平成元年(一九八九)
▽9月 瀬谷区制20周年記念式典を挙行

平成2年(一九九〇)
▽3月 瀬谷区制20周年記念誌発刊
▽12月 区の推計人口が12万人を突破

平成3年(一九九一)
▽4月 下瀬谷小学校(現瀬谷さくら小学校)コミュニティスクール開設
▽12月 ニツ橋在宅支援サービスセンター(現ニツ橋地域ケアプラザ)が開館

平成4年(一九九二)
▽7月 長屋門公園開園

平成5年(一九九三)
▽3月 瀬谷駅北口の交通広場、歩行者専用道路が暫定的に供用開始

平成5年(一九九三)
▽5月 瀬谷中央公園内にこどもログハウス「まるたのしろ」開館

平成6年(一九九四)
▽10月 瀬谷区制25周年記念式典を挙行、記念誌発刊

平成7年(一九九五)
▽4月 南瀬谷小学校コミュニティスクール開設

▽5月 瀬谷区地域防災拠点に小学校12校、中学校3校を指定



現在の瀬谷区総合庁舎



瀬谷跨線橋開通(平成17年)



三ツ境駅(昭和61年頃)/相鉄グループ提供

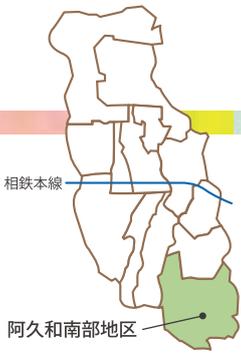


瀬谷駅北口(平成8年)



日米親善桜まつり(平成24年)

- 平成 8年(一九九六)
 - ▽3月 阿久和地区センター、阿久和地域ケアプラザ開館
- 平成 10年(一九九八)
 - ▽3月 相沢雨水調整池が完成
- 平成 11年(一九九九)
 - ▽8月 中屋敷地区センター、中屋敷地域ケアプラザ開館
 - ▽10月 瀬谷区制30周年記念式典を挙げる
- 平成 12年(二〇〇〇)
 - ▽3月 瀬谷駅北地区の土地区画整理事業完了
 - ▽12月 環状4号線(日向山から横浜厚木線まで)の供用開始
- 平成 13年(二〇〇一)
 - ▽8月 下瀬谷地域ケアプラザ開館
- 平成 14年(二〇〇二)
 - ▽1月 瀬谷区マスコットキャラクター「せやまる」誕生
 - ▽5月 瀬谷本郷公園一部開園
 - ▽11月 瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」開設
- 平成 16年(二〇〇四)
 - ▽3月 瀬谷駅南北自由通路が開通
 - ▽5月 東野中学校コミュニティ・スクール開設
- 平成 17年(二〇〇五)
 - ▽4月 瀬谷区民活動センター開設
 - 環状4号線瀬谷跨線橋が開通
- 平成 18年(二〇〇六)
 - ▽1月 原中学校コミュニティ・スクール開設
- 平成 19年(二〇〇七)
 - ▽1月 瀬谷区連合町内会が第11回防災まちづくり大賞(総務省主催)を受賞
- 平成 20年(二〇〇八)
 - ▽10月 南瀬谷高齢者支援拠点「あつて〜南瀬谷」開設
- 平成 21年(二〇〇九)
 - ▽10月 瀬谷区制40周年記念式典を挙げる
- 平成 22年(二〇一〇)
 - ▽4月 下瀬谷小学校と日向山小学校が再編統合し、瀬谷さくら小学校が開校
 - ▽11月 新しい瀬谷公会堂開館
- 平成 23年(二〇一一)
 - ▽4月 せやまるふれあい館開館
 - ▽5月 ニツ橋第二地域ケアプラザ開館
- 平成 24年(二〇一二)
 - ▽2月 新しい瀬谷区総合庁舎供用開始
- 平成 25年(二〇一三)
 - ▽4月 ニツ橋公園開園
 - ▽6月 阿久和向原第二公園の地域見守り拠点「みまもりの家」完成
- 平成 26年(二〇一四)
 - ▽7月 瀬谷区地域福祉交流拠点「ぽかぽかプラザ」開設
- 平成 27年(二〇一五)
 - ▽6月 上瀬谷通信施設が返還
- 平成 29年(二〇一七)
 - ▽4月 横浜市多機能型拠点「こまち」開設
- 平成 30年(二〇一八)
 - ▽4月 瀬谷みはらし公園開園
- 平成 31年
 - ▽4月 瀬谷区休日急患診療所を移転
- 令和元年(二〇一九)
 - ▽10月 瀬谷区制50周年記念式典を挙げる



阿久和南部地区

歴史があり、今でも古き良き横浜の原風景が残る

地区の特色は

どんなところでしょう？

瀬谷区内には多くの神社があります。中でも阿久和南部地区にある熊野神社は、平安時代に建てられた瀬谷区最古の神社だそうです。江戸時代になると阿久和村領主の安藤治右衛門が力を尽くして、熊野神社が再興されました。そういう意味では歴史のある地区だと思えます。戦前、戦中は食糧難もあり、農作が盛んでした。米麦、諸類の栽培が多く、スイカもこの地から東京方面へ出荷されました。さらに、一部ではゆり根の栽培もあったようです。農家は少なくなっていますが、今でも古き良き、横浜の丘陵地の風情や農業地区としての原風景が残っているところだと思えます。



左から：斉藤 ユートピア自治会会長／土居 阿久和住宅自治会会長／相原 保護司／北井 地区連合会長／桐生 地区社協副会長／鈴木 親和自治会会長／細川 原店自治会会長

防犯に対して独自の取組があるようですが。

見守り活動である「防犯パトロール」を定期的に行っています。まず、地区の中に防犯の拠点となる「防犯ステーション」を作り、地区で軽自動車を購入しました。当初は三人体制で、一人がステーションに残り、二人が青い回転灯のついた車に乗って、「防犯パトロール」を毎日行っていました。現在は駆け込む方もいなくなりましたので、月・木・土曜日の週3日間、パトロールのみ行っています。

地区の将来像は？

自治会への参加率を上げるために、自治会の効用を住民の皆さんにもっとお知らせする必要があります。特にお知らせするのは災害の時です。自治会の存在が最も重要になります。また、若い世代の方たちにとって、この地区が自分たちの「ふるさと」という意識を持っていただけると嬉しいです。結婚して一度は外に出た方たちが戻ってきて、子どもを連れて行事に参加するケースも多々あるようです。子ども祭り、南部祭り、どんど焼きなど、一年を通じて様々な行事があります。子どもたちにも日本の文化を伝える意味でも、今後も継続してさらなる交流の場になればと考えています。

行事紹介



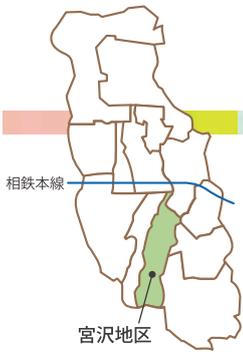
どんど焼き

毎年、松が明ける1月の中旬に、地区の中央部にある阿久和大久保原公園で行われます。地区にお住いの皆さんが、役割の終わった門松などのお正月飾りを持ち寄り小山のように積み上げます。次に3m以上もある竹竿の先にお団子を刺したら準備完了。お正月飾りの山に火を放ち盛大に炎が上がってきたら、そこに竿をかざして、焦がさないように注意しながらお団子を焼き上げます。竹竿は何十本も準備されますが、時には順番待ちの列ができる大盛況になることも！最後は、焼きあがったばかりの湯気の上のお団子を食べて、1年の無病息災を祈ります。



南部まつり

「南部まつり」はお盆をひかえた夏の行事です。地区内の原小学校の校庭を使い、大人が20人以上も乗ることができる大きなやぐらを組み上げ、各町内会が模擬店のテントを張ります。太陽が傾き始める時刻になると地区のみんなが集まってきます。開会宣言に続いて、子ども神輿のパレードや、チアリーディング、ダンスに和太鼓といったアトラクションが目白押し。そして風が少しだけ涼しくなり気分も盛り上がったところで、いよいよ盆踊りの開幕です。そろいの法被あり、浴衣に団扇の正統派スタイルありとそれぞれが意匠を凝らして踊り踊って、阿久和の夜は更けて行きます。



宮沢地区

瀬谷区の花や鳥、四季折々の自然が楽しめる

地区の特色は

どんなところでしょう？

和泉川沿いは四季折々の表情が楽しめます。春は桜が咲いて、6月には瀬谷区の花でもあるアジサイ、秋になると彼岸花が咲きます。自然豊かで環境が良く、カワセミやウグイスが鳴いて、瀬谷区の鳥のオナガやカモもいます。こうした花や野鳥を撮影している方たちも多くいらつやいます。この地区には宮沢の森愛護会があり、その中の自然観察部会が観察の記録をつくってくれています。また、信号が一つもないこともこの地区の特色です。住宅地で本当にのどかなところだと思います。

一年を通じて、様々な行事や取組があるようですね。

5月から次の年の2月まではほぼ毎月、行事があります。そのほかの取



宮本 地区連合会長

組としては、夜間パトロールの防犯運動も行っています。また、夏休みになると、南瀬谷中学校、原中学校からそれぞれ20名ほどの生徒さんに集まっていたり、朝7時からごみ拾いしながらのパトロールをしています。そしてこの地区はお年寄りも多いため、宮沢連合自治会と宮沢地区社会福祉協議会が一体になって今後も高齢化への取組を行っていく予定です。毎月、第2金曜日に「ひまわり給食」というお年寄り向けの給食会を地区社会福祉協議会で実施しています。敬老会やバザーも一緒に行っています。また、高齢者を対象にしたレクリエーションで「歌声ラウンジ」を開催しています。100曲以上の中からリクエストで選ばれた曲を電子ピアノに合わせて、皆さん一緒に歌っていたできます。この地区ならではのユニークな取組かもしれません。さらに子育て支援を充実させるために、主任児童員を中心に毎月、南瀬谷地区と一緒に「子育て応援お母さんの集い」やお芋掘りを行っています。「子ども食堂」も毎月、第3月曜日に開催しています。

地区の将来像は？

今後子育て支援から高齢者の見守りまで幅広く対応していきます。高齢化が進んでいることを視野に、現在の行事をしっかり継続しながら若手にバトンタッチしていければいいですね。若手が担っていけば、より改革できると思います。

行事紹介



宮沢サマーフェスタ2019

地域住民相互の親睦と交流をより一層深め、地域の活性化・一体化を目指した夏祭り「宮沢サマーフェスタ2019」を松林公園（宮沢町第四公園）で開催しました。出店のほかにステージで合唱やダンス等が行われ、子どもからお年寄りまで楽しいひと時を過ごしました。



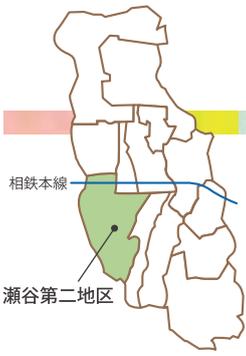
宮沢連合自治会秋季防災訓練

震災が発生した場合でも速やかに地域防災拠点を開設・運営ができるように、南瀬谷小学校で防災訓練を実施しました。地域の方のほかに、南瀬谷中学校の生徒がボランティアとして参加し、いざという時に備えて真剣に取り組んでいました。



敬老長寿のつどい

70歳以上の方を対象に毎年9月に行う敬老長寿のつどいは、昨年は100名以上の方が参加しました。式典の後、中学生による作文の朗読や吹奏楽部による演奏、保育園児による青森県今別町に伝わる荒馬踊りが披露され、参加者の方に楽しんでいただきました。



瀬谷第二地区

住民全体で見守る、心の通う温かい地区へ

地区の歴史や 特色を教えてください。



左から：鈴木 橋戸原自治会会長／網代 地区連合会長／菅原 地区連合副会長

瀬谷第二地区の発足は、昭和41年になります。瀬谷区が誕生する3年前の戸塚区の際に私たちの地区は作られました。当初は15の自治会でしたが、まちの発展と共に増え、現在は23の自治会・町内会で構成されています。

瀬谷区の中では、会員数・自治会数共に一番多い地区になっています。平成28年には、連合自治会創立50周年記念事業を実施いたしました。瀬谷区長森秀毅様をはじめ多くの御来賓の皆様にご臨席をいただき記念式典・祝賀会を盛大に開催できました事は忘れられません。

さらに、記念誌「翔」を編集・発行できましたことは、大変な誇りであります。連合自治会の「50年の歩み」や他自治会、活躍されている諸団体を知っていただくことは、今後一層地区の結束力を高めるものと思っています。

地区の行事には、 どのような特徴がありますか？

毎年6月に、瀬谷区役所の御指導・御協力をいただき境川・相沢川沿いの自治会・町内会の皆様を中心に風水害対策訓練を実施しております。

旧瀬谷保健所の御提案に賛同して地区全体で取り組む「いきいき瀬谷っ子事業」モデル地区として取組を開始しました。以来、夏には「水遊び」、秋には「ちびっ子フェスティバル」を開催しております。いきいき瀬谷っ子事業は、お子さん、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんの三世代交流を図る機会として、さらに、地域の皆様と子どもさんが、また、子育て中のお母さんお父さんの交流を図る場作りを目的に行っております。

フェスティバルには、区内各地からはもとよりお隣大和市からも参加していただいております。

当日は、焼きいもを食べていたり、自分で焼いたパンを食べたり、さらに昔ながらの楽しい遊びも体験できます。

近年では、先生等に御協力をいただき、「子育て相談コーナー」も設けております。

地区の将来像は？

歴史あるこのまちをずっと支えてくださいました皆様の高齢化が進んでいきます。

御高齢の皆様を大切に思い、地域で温かく見守り、支えるまちづくりに一層取り組んでまいりたいと思います。また、高齢化に伴い、認知症に対する心配も多く聞かれますが、認知症の理解促進と認知症予防対策の普及に積極的に取り組んでまいりたいと考えております。

行事紹介



ふるさと祭

毎年8月に、瀬谷第二小学校校庭で恒例のふるさと祭りが2日間にわたり開催されます。焼きそば、焼き鳥、かき氷やゲームなどの模擬店を各種団体や施設が出店し、子どもたちによるソーラン踊りの披露、鼓鶴会の和太鼓の演奏や盆踊りが祭りを盛り上げます。盆踊り「踊り手コンテスト」も行われ、夏の思い出として、地区の皆様のお楽しみの一つになっています。



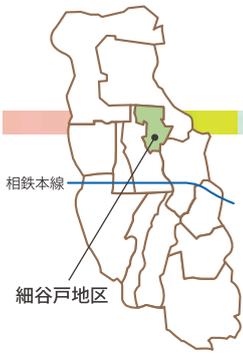
レクリエーション大会

毎年10月に、下瀬谷中学校校庭で、地区にお住まいの皆様のご親睦と心身の鍛錬をはかり、明るいまちづくりにつなげようと、レクリエーション大会が開催されます。学校の周囲をコースとするマラソンに始まり、玉入れや綱引き、大縄跳びなど各種目への応援にも熱が入り、最後は地区年齢別リレーで盛り上がりは最高潮に達します。毎年、どの世代でも楽しめる種目で多くの皆様に御参加いただいております。



ゆずり葉の集い

毎年10月に、瀬谷第二小学校体育館で地区社会福祉大会「ゆずり葉の集い」が開催されます。平成11年から開催され、昨年で第20回目となりました。当日は、御長寿の皆様をお迎えして、昼食やアトラクション、最後は大抽選会で盛り上がります。アトラクションは毎年、演奏や演芸など、地域で御活躍の皆様にご協力いただき、趣向をこらした内容で御参加の皆様楽しんでいただいております。



細谷戸地区

地域は家族、和と理解と協力で住みよい細谷戸

いわばこの地区は、県営住宅の成り立ちと共に歩んできたといえます。現在は70歳以上が約40%を占め、瀬谷区の中でも高齢化率が一番高くなっています。みはらし公園や少年野球グラウンド、広場などもあり、また、集会所が2か所あり、各種行事にも、住民の集まりが良く参加しやすい地域です。

昭和29年から30年に神奈川県県営住宅モデル地区として県営細谷戸住宅が建てられ、その当時は若い世帯が多く1,560世帯もありました。その後、平成の初め頃から建て替えが進められ、現在の5階建ての住宅になりました。

県営団地を中心に、住民の日常を支えてくれる商店街、その周辺に暮らす一戸建てなどで構成されている地域です。

**地域の歴史や特色は
どんなところでしょうか？**



左から：大坪 地区連合会長／古瀬 細谷戸ハイツ第二自治会会長／長井 細谷戸ハイツ第三自治会会長

**具体的な行事や
取組を教えてください。**

連合会の福祉対策では、高齢者の見守りに力を入れており、様々な事業に取り組んでいます。転倒予防体操とラジオ体操をそれぞれ週に1回、サロンは月1回開催し、毎月約60名が参加します。スタッフはみんなボランティアで、自分から参加していただいています。ピーハイブ活動の一つである「安心キット」の取組は、緊急時の対応に有効で、引き続き力を入れていきます。

また、子ども向けの行事にも力を入れ、スポーツや対話等を行っています。団地内の一室を県から無償で提供いただき「おあしす102」を平成30年にオープンしました。地域の皆さんに御利用いただくとともに、月2回子どもの居場所としての取組も進めています。

平成30年に瀬谷団地連絡道路が開通し、交通事故が増えていますので、住みよいまちになるよう対応を検討しています。

地区の将来像は？

旧上瀬谷通信施設の跡地開発等で大きな変貌があり、車両も多くなるのではないのでしょうか。また、公営住宅ということから、外国籍の方もおり、地域をまとめることも大変になっていくと思います。

子どもから高齢者まで、誰もが笑顔で、お互いが協力しあう地域であって欲しいと思っています。

行事紹介



どんと焼き

1月エコ広場で毎年恒例のどんと焼きが行われ大勢の方が訪れます。竹の筒でお燻したお酒やお汁粉を振る舞い、細谷戸地域の皆さんの無病息災を願います。せや福祉ホームや愛成苑の方も参加し、おだやかな時が流れます。最後にお楽しみの焼き芋も！子どもたちの楽しみの一つです。



細谷戸ふるさと祭り

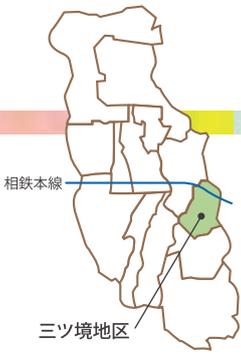
11月に細谷戸集会所でふるさと祭りが開催されます。団地中心の連合のため、住民の入れ替わりも多いこの地域ですが、「いつまでも細谷戸をふるさととして愛着をもってもらいたい」という気持ちを込めて実施しています。

演芸や地域の方のフラダンス、カラオケ披露、自治会等による模擬店など、みんなが笑顔で楽しめる催しです。



ピーハイブ活動

高齢者の孤独死をなくそうと「ピーハイブ活動」と命名し、ハチの巣のようにきめ細かな見守り活動を平成20年頃から始めました。いざという時にかけつけの医者や薬、緊急連絡先を記入した「安心キット」の取組は、他地区でも取り入れられるとともに、宇都宮市の社会福祉協議会も見学を訪れ、意見交換を行うなど、広がりを見せています。



三ツ境地区

商店街と住宅地と緑がある、鉄道開業で新しく開けたエリア



左から：篠原 地区社協事務局長／諸橋 地区連合会長／酒井 睦会会長

地区の特色を教えてください。

高度経済成長期からの相鉄線の発展に伴い、三ツ境駅を中心にこの地区は急激に発展しました。人口密度は区内で比較的高いと思います。また、この辺りは駅前の商店街と住宅地と緑のバランスがちょうどいいところが魅力です。丹沢と富士山が今でもきれいに見えます。山林を開拓したところなので、坂が多く、起伏がありますが、程良いアップダウンがあり健康にはいいかもしれません。そして駅前の商店街がずっとこの地区を盛り上げてくれました。昭和の時代には映画館があったほど活況を呈していたようです。しかし最近では大型店の影響もあり、個人商店が少なくなっていることも事実です。

地域の主な取組は？

平成25年から連合自治会、地区社会福祉協議会を中心に、民生委員児童委員協議会などの諸団体が集まって「三ツ境地区住みよいまちづくり推進委員会」という組織を発足しました。そこで高齢者世帯への「見守り活動」や「三ツ境地区サポーターズ」などの活動に取り組んでいます。「三ツ境地区サポーターズ」は、七夕灯籠祭りなどのイベントのお手伝いをする「地域活動グループ」、麻雀教室やカラオケ同好会を開く「趣味・特技活動グループ」、庭の掃除・剪定などをサポートする「日常生活支援グループ」の三つの柱で活動を行っています。

地区に寄せる

将来像をお聞かせください。

日常生活支援の集いで皆さんに自己紹介してもらった時、本当に全員が「地域のお役に立ちたい」と言ってくれました。そういう熱意のある方々にもっと参加していただいで、今後も住みよいまちにしていければと思っています。次の担い手をつくるために、楽しみながら実行することが大事ですね。「参加してよかった！楽しかった！」と言えるような雰囲気づくりが、この地区のさらなる活性化につながるはずです。

行事紹介



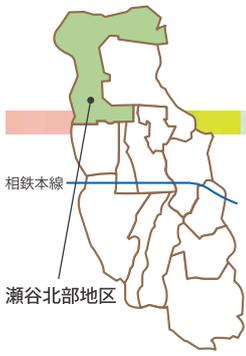
元気はじける「三ツ境の夏祭り」

例年8月、暑さ厳しい最初の土日、三ツ境駅の南口はいつもにも増して大騒ぎとなります。商店会や地域自治会が協力して開催する恒例の夏祭り、駅前から300mにわたって賑やかな出店が続き、焼き鳥・焼きそば・お好み焼きなどの香ばしい匂いが鼻をくすぐり、肌もあらわなサンパチームが通りを練り踊ります。この夏祭りは昭和32年8月7日の白姫神社の遷座日にあわせて行われる夏祭りでもあり、地域が大切に保管する神輿渡御の場にもなります。祭り2日目の日曜日午後には三つの神輿が競り合う「華合せ」も行われ、祭りは最高潮を迎えます。祭りが終わってひと段落すると、毎年、秋はもうすぐそこまで迫ってくるのです。



ふるさとまつり三ツ境地区レクリエーション大会

体育の日前後の秋の日、恒例のふるさとまつり三ツ境地区レクリエーション大会を開催します。昨年は特に区制50周年記念事業として、昼休みを中心に記念イベントを開催しました。まずは三ツ境小学校在校生がカードに書いた“将来への夢と希望”を色とりどりの風船に託し、参加者全員で“天まで届け！”と空に放ちました。続く三ツ境歴史クイズ大会では、6問のふるさと歴史クイズを出題。最後まで勝ち残った50名に瀬谷区制50周年記念切手シートをプレゼント。さらに希望者には10年後に大切な人（あるいは自分自身）に届くタイムカプセルハガキを書いてもらいました。プログラムの最後は、幅広い世代をタスキでつなぐ「三ツ境リレー」。昨年は特に50周年記念として取りきりの「諸橋杯」が寄贈され、大いに盛り上がりました。



瀬谷北部地区

「旧上瀬谷通信施設」跡地で、「国際園芸博覧会」開催を願う

地区の特色は

どんなところでしょう？

この辺り一帯は、昔は農家が多い非常にのどかなところでした。今でもずっと農家を続けている世帯もあります。じゃがいも、さつまいも、里芋、白菜、小松菜、ほうれん草などが特産品で、直売所でも大変人気があるようです。このように昔からの農家がある一方、新しい住民も段々と増えています。地区の北部には「マースプリングス」という、約800世帯が暮らすマンションと戸建ての複合住宅地もあります。ちなみにこの名前ですが、住宅地周辺の土地を1,000mほど掘ると温泉が湧くことに由来しています。瀬谷区の中でも、温泉が湧くのは、この地区だけではないでしょうか。



奥津 地区連合会長

地区の一番の見どころは？

やはり海軍道路の桜並木です。この地区の何よりの自慢です。桜が咲くシーズンには多くの方々が訪れて、かなりの賑わいを見せます。

地区の

将来像をお聞かせください。

米軍の施設として使用されていた「上瀬谷通信施設」が、平成27年6月に返還となりました。地区住民の願いがやっと叶ったわけです。この跡地活用として、「国際園芸博覧会」を招致するために、現在、一生懸命に進めております。このような国際的なプロジェクトが開催できれば、土地の基盤整備などが非常に助かり、地域活性化の強力な後押しとなります。半年の間に1,500万人以上の集客が予想されますが、これは上瀬谷地区にとつて大変意義のあることだと思えます。今までは横浜市というと、横浜駅周辺や湾岸エリアに注目が集まっています。しかし「国際園芸博覧会」開催となれば、瀬谷区も新たに注目を浴びるのではないのでしょうか。新たな公共交通も導入の必要がありますし、将来の発展性も見違えるように変わっていくのではと思います。

また、今後は子どもとお年寄りを大切に、連合会と社会福祉協議会が互いに協力し合って、より素晴らしいまちづくりを目指していきたいです。

行事紹介



ふれあい食事会

中屋敷地区センターの体育館で地区社協・むつみ会の方が中心に、参加者（77歳以上）とお手伝いの方で地域交流をしながら昼食をいただきます。また、昼食後はビンゴゲーム等で楽しいひと時を過ごします。150人を超える方が、参加されます。

各町内会の方が会場の準備、参加者の送迎をし地区が一体となって実施されています。



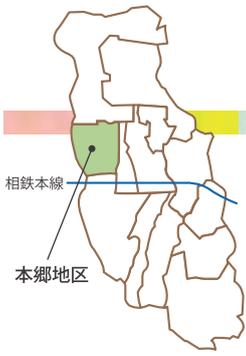
レクリエーション大会

上瀬谷小学校グラウンドで、毎年10月に地区の町内会対抗の形でレクリエーション大会が開かれます。地区の皆さんの親睦を図り、どの世代の方でも楽しめるように、三輪車リレー、グラウンドゴルフ、地区別年齢別リレーなど、多彩な種目が用意されています。昼食をはさんで夕方まで、優勝杯を目指した熱戦が繰り広げられます。



交流フェスティバル

県立瀬谷養護学校で毎年12月に行われます。会場は学校ですが、地域の福祉事業所、町内会、地区社協などと実行委員会を作り運営する「地域のイベント」です。吹奏楽などの「ステージプログラム」、福祉事業所の製品、地元の野菜、地元商店の味噌、麴等の「販売」、パトカー、白バイの試乗などの「イベント」が行われます。



本郷地区

「相模凧」の伝統が続く、七色の交流が広がるまち

地区の歴史や特徴は どんなところでしょうか？

昭和40年頃から家が増加しました。それ以前は農家と畑があるだけでした。また、この地区には、昔から「相模凧」の風習がありました。今でも農家で長男が生まれると、鯉のぼりと兜と凧の三つを行う風習が残っています。昔の凧あげは、たみみ一畳ぐらいの大きさで大人10人ぐらいであげました。この風習を汲んで、現在、5月の第2土曜日に瀬谷本郷公園で行われているのが、大門小学校PTAの「たこあげ大会」です。たくさん子どもたちが色とりどりのビニール凧をあげます。凧あげを通して交流できるよい機会となっています。



左から：青木 本郷第一自治会副会長／上田 地区連合会長

具体的な行事や 取組を教えてください。

毎年、11月に日枝社で「ふれあい文化祭」を行います。境内で地域の人たちが10店ぐらいの模擬店をやりますが、大盛況です。地場産の野菜や、つぎたてのお餅も販売します。瀬谷中学校吹奏楽部の演奏や大門小学校放課後キッズクラブのダンスなどを行うのですが、人気があります。1,000人ぐらいが来場します。また、9月に7日間「レインボーオーキング」を開催しています。レインボーという名前のおり、七つのコースがあり、地区内の名所などを回れるようになっていきます。楽しみながら健康づくりができるので、大変盛況です。そして若い世代と高齢者の交流もあります。瀬谷中学校の囲碁将棋部に、高齢者の方たちが指導のために月に一度、お手伝いに伺います。また、大門小学校で昔遊びを年に1回教えています。今後は交流がもっと盛んになればいいと思います。

地区の将来像は？

新たに地区に住み始めた方たちも自治会に快く入ってくれています。皆さんそれぞれに得意なことがあると思いますので、得意な分野で行事や取組にうまく参加してもらえるといいと思います。今後は新しい方たちと一緒に、本郷地区をもっと盛り上げていけたらと考えています。

行事紹介



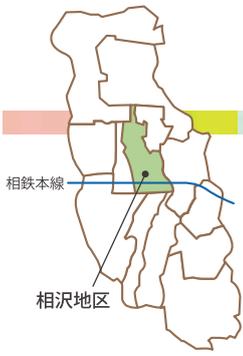
レクリエーション大会

レクリエーション大会は、連合の運動会として令和元年に46回目を数えました。出場者への声掛けに自治会毎の苦労はありますが、当日は、例年たくさんの方が参加し、地域の交流の場として、とても盛り上がっています。本郷地区は、15歳以下の人口割合が、瀬谷区内の連合で比較的高く、たくさん子どもたちも参加しています。綱引きや、障害物競争はもちろん、全員が参加するフォークダンスなど、スポーツ推進委員の方々が、毎年趣向を凝らして企画しています。



敬老福祉大会

敬老福祉大会を、地区センターの体育室を会場に開催しています。200人以上の方が参加するビッグイベントです。午前中から始まり、数々の出し物があり、お昼をみんなでもいただきます。午後にも歌や踊り、太鼓が披露され、最後はビンゴゲームを行います。出し物は、瀬谷養護学校、大門小学校、瀬谷中学校の児童、生徒さんたちの歌や踊りのほか、消費生活推進員の啓発講座などもあります。高齢者の方々が地域とつながりながら、いつまでも本郷で元気に暮らしていただきたいという思いが、会場いっぱい広がります。



相沢地区

伝統行事「どんど焼き」を、現代の子どもたちにも伝える

「どんど焼き」です。第五から第八の四町内会が集まって、瀬谷諏訪社で1月14日前後の土日に大々的に行っています。元々は五穀豊穡、無病息災を願うためのお正月の火祭りでしたが、現在は子どもたちが主な対象です。お正月のしめ縄やお飾

ここが地区の自慢というものをお聞かせください。

地区の特色を教えてください。
瀬谷諏訪社や相沢山長天寺を中心にこの辺りは発展していったようです。町内会の発足も昭和14年です。戦前からの歴史ある地区といえます。50年ほど前は、桑畑が多く、タヌキやヘビも出て、自然環境が大変豊かなところでした。人家が増えているものの現在も自然が残り、程良いバランスで住みよい地区だと思います。



左から：山宮 相沢第八町内会会長／木村 地区連合会長

りなどを集めて火で燃やしますが、残り火で炙った団子を食べると、一年を健康に過ごせるという言い伝えがあります。また、失敗した書き初めを燃やし煙が高くまで上がると、その書き初めを書いた子どもは字が上手になるといいうい伝えもあるんです。「どんど焼き」は、子どもたちにも日本の伝統行事を伝えられる、この地区恒例の自慢の行事だと思っています。

その他にも、独自の取組などがありますか。

「二ツ橋地名由来の碑」の維持管理を第一町内会の老人会が行っています。石碑には『しみじみと清き流れの清水川かけ渡したる二ツ橋かな』という、徳川家康の和歌が刻まれています。ここへ毎月第3の日に5名ほどが集まり、掃除や草木の刈込みをします。清掃作業が終わると皆さん清々しい気持ちになるようです。

地区の将来像は

どのようなものですか？

9月のお祭りなどは、多くの小学校、中学校の生徒がボランティアで手伝ってくれています。将来はこうした皆さんに相沢地区を担っていただければと願っています。子どもたちが成長したら、自分たちの手で運営できるように、行事を楽しく盛り上げて、次に引き継ぐのが私たちの役目だと思います。

行事紹介



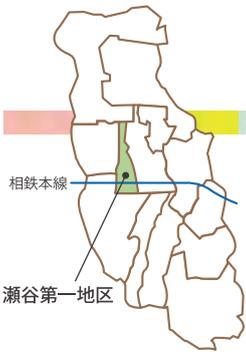
第8回相沢ふれあいのつどい

相沢地区の「社会を明るくする運動」として実施されている「ふれあいのつどい」は、令和元年で第8回となりました。この行事は、相沢地区社会福祉協議会と相沢町内連合会の共催で実施されており、更生保護への理解を深めるだけでなく、世代間の交流を図ることを目的に、瀬谷小学校をはじめ、地区内の各種委員団体、福祉事業者等、多くの関係者の協力のもとに行われています。



相沢秋季大運動会(第50回記念大会)

相沢町内連合会の秋の恒例行事となっている大運動会が、50回目の開催を迎え、記念大会として行われました。町内対抗玉入れや、ボール運びリレーなど、第一から第八町内会の皆さんが一致団結し、しのぎを削る様は、とても盛り上がりを見せました。また今回は50回を記念して、豪華賞品が当たる抽選会も行われ、いつもにも増して白熱しました。



瀬谷第一地区

さらなる発展が期待できる、“瀬谷区のおへそ” 中心エリア

地区の特色を教えてください。

この地区は瀬谷区内を走る相鉄線の瀬谷駅を中心に位置しています。そういう意味では、“瀬谷区のおへそ”と言えるかもしれません。地形的には区内でも、アップダウンの少ない平らな地域だと思えます。また、米軍の施設として使用されていた「上瀬谷通信施設」地区の南側にあります。従って、この跡地活用に関しては、瀬谷第一地区の住民は非常に関心を持っています。現在、「国際園芸博覧会」招致の動きがありますが、有効活用できれば駅周辺の整備もあわせて、この地区がさらに発展できるのではと思っています。

独自の取組などがあれば教えてください。

平成20年から見守り活動の一環として「WAT運動」を実施していま



左から：大粒来 中央町内会会長／山田 中原町内会副会長／山家 中原町内会会長／水村 本郷第四自治会会長／横山 地区連合会長／中嶋 東町町内会会長

す。Wは、WATCH(見る)、AはACTION(行動)、TはTEAM(チーム)の略です。ほかの地区に比べると高齢化率は低いのですが、核家族が増えて、高齢者でひとり住まいの方もいます。さらに空き家問題などもあり、世代交代がうまくいっていない世帯もありますので、「WAT運動」がさらに広がっていくといいと思います。

また、瀬谷四丁目公園では高齢者を対象に「朝の体操」を行っています。近隣の町内会から集まり、参加人数は現在、40人を超えました。10年以上続き、最高齢の参加者は92歳の方です。土・日曜日以外は、ほぼ毎日行っています。毎日参加者が顔を合わせることで、見守りの活動の一つになると思っています。

地区の将来像は？

瀬谷第一地区は、新しく住んだ方たちと昔から住んでいる方たちが共生している地区です。ですから、昔からの習慣を受け継ぎながら、新たに住んだ方たちと連携して行事を進めています。この連携をさらに強化すれば、より太いネットワークになるのではないのでしょうか。

そして現在、瀬谷駅南口に大型マンションが開発されています。将来ここに暮らす住民の方たちとどのように地区のまとまりを作り出していけるかが、さらなる発展の鍵の一つの鍵になります。

行事紹介



社会を明るくする運動「瀬谷第一地区地域の集い」

「社会を明るくする運動」として、更生保護の原点をふまえつつ、地域の中で青少年が健やかに成長できる環境づくりをみんなで一緒に考える場として、毎年「地域の集い」が行われています。

令和元年度は「障害者とともに元気に安心して暮らせる地域づくり」をテーマに、障害者施設施設長の講演、作業所で働く仲間たちの活動紹介、障害を持ちながらスポーツで活躍する少年のお母さんのお話などが紹介されました。

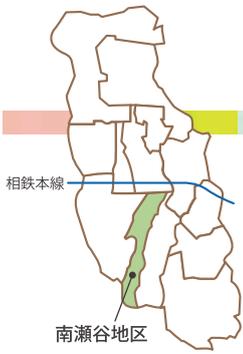
また瀬谷小学校・中学校合唱部によるコンサートや、体験パラスポーツでポッチャにトライなど、盛りだくさんの内容で参加者も楽しんでいました。



瀬谷第一地区連合レクリエーション大会

平成30年度で47回を数える地区最大のイベントです。連合・社協を始め、地域の各団体で実行委員会を組織し、時間をかけて準備を進めます。

当日は未就学児から高齢者まで、地域の老若男女が会場の瀬谷中学校にそろいます。綱引きや二人三脚、人気競技のパン食い競争など、青空のもとで競技に汗を流し、地域の交流と顔の見える関係づくりに大いに貢献しています。



南瀬谷地区

連合、地区社協が両輪となって地域(まち)を育てる南瀬谷

地域の特徴は どんなところでしょうか？

福祉活動が大変さかんな地区です。地区の中央に位置する市営南台ハイツのところに、かつては平屋の市営住宅がありました。その当時から助け合いの精神があり、福祉活動も積極的に行われていたようです。そして今日では、福祉活動に関しては地区社会福祉協議会が中心に進めています。それを自治連合会が全面的にバックアップする形をとっています。「福祉は南瀬谷」とお褒めの言葉をいただいたこともあるくらいです。現在、自治連合会と地区社会福祉協議会の二つが両輪となり、お互いに信頼関係を築き連携しながら、地区の様々な活動を進めています。また、この地区のスローガンは「みんな育てよう暮らしやすいまち みなみせや」です。実は、地区を走る相鉄バスで、このスローガンを車内



左から：森谷 地区社協事務局長／瀬谷 地区連合会長

放送していただいています。こうしたアイデアも、南瀬谷地区ならではのアイデアです。

具体的な行事や取組を 教えてください。

5月に行われる「福祉バザー」は毎年大盛況で、60万円ぐらいの売り上げがあります。各自治会の御協力で、品物を集めていただきます。売り上げは、高齢者サロンや配食サービス・子育てサロン・プレイパークなど、福祉活動の大切な運営資金になります。また、地域のメイン行事として、8月に二日間開催する「連合まつり」は、多くの住人が楽しみにしています。平成30年は、両日で3,000人ほどが集まりました。このお祭りは、住民の親睦と顔の見える関係づくり、子どもたちのふる里づくり、日本の文化の伝承のために行っています。この行事は、50〜60歳代のプチ同窓会にもなっています。

地区の将来像は？

一部の人が頑張るだけでなく、みんながまちづくりを頑張る、1人が頑張ると100歩進むよりも、100人が一歩ずつ進んで活動するまちにしたいですね。今、若手の方たちから新しい活動が生まれる雰囲気になりつつあります。ですから、まずは自分たちにとつて楽しいこと、身近なことでもちづくりに参加してもらって、地区の活動をじっくり固めていければと思います。住民同士が協力して「みんなが暮らしやすいまち」を実感できる地区にしていきたいですね。

行事紹介



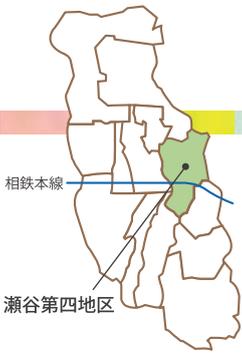
南瀬谷連合まつり

「南瀬谷連合まつり」は、平成の初め頃から夏の風物詩として開催されている、南瀬谷自治連合会の伝統行事の一つです。南瀬谷中学校の校庭に、盆踊りの櫓や数多くの模擬店が出店し、会場は地域住民で賑わい溢れています。地区社協をはじめ、小中学校、各自治会、地元サークル団体等が協力し、夏の暑さに負けず、地域全体で2日間にわたりお祭りを盛り上げています。住民の親睦と顔の見える関係づくり、日本文化の伝承などに大きな役割を担っています。



南瀬谷地区高齢者福祉大会

毎年11月3日に行われる「南瀬谷地区高齢者福祉大会」は、70歳以上の方にお声掛けし200名以上の方が参加されます。お好きな飲み物を選んでもらい、アトラクションを楽しむサロン形式になってから、参加者が毎年増えています。アトラクションは、小中学生、民生委員、地域ケアプラザ職員、地元サークル等による踊りや体操、ピアノの伴奏によりみんなが歌を歌うなど、参加者の方がゆっくり楽しめる会になっています。



瀬谷第四地区

「瀬谷市民の森」の緑、清らかな和泉川の流れ



大柴 地区連合会長

**地区の特色は
どんなところでしょうか？**

南部は三ツ境駅と隣接していますが、北部は「瀬谷市民の森」がありますので、木々が生い茂って緑豊かな地区だと思えます。地区の中を和泉川が流れて、その源流が「瀬谷市民の森」にあります。川沿いは整備されているので、源流を辿って散歩するのも良いです。お年寄りが川沿いを歩いて、健康維持にも役に立っているようです。そういう意味では非常に住み良い地区だと思えます。地区の中心を中原街道が通っていますが、昔は街道の周辺に競馬場や牧場があったと聞きます。また、この地区は相模国と武蔵国の境目に位置したそうです。歴史的な観点からも、今の瀬谷第四地区あたりは要所だったのではないのでしょうか。

**この地区、独自の活動があれば
教えてください。**

瀬谷区制50周年に先駆けて、3年前に第四地区創立50周年の記念誌づくりを行いました。当初は非常に苦労したのですが、協力者として自治会会長歴代OBの皆さんが非常に活躍してくれました。住民の皆さんの御協力もあり、一冊の記念誌として完成できたのは、本当に思い出深いです。ここ一番の時の結束力は強いと思います。また、地区の中には、二つ橋小学校、東野中学校、瀬谷高等学校、二つ橋高等特別支援学校、三ツ境養護学校といった様々な学校があります。学校を活動基盤にして行事を行う際は、中学校や高校の生徒に御協力いただき、イベントを盛り上げてもらっています。

地区の将来像は？

若手を育てる仕組みづくりを進めていきたいです。地区の未来のためにも、私たちが現在、行っている仕事を最終的には若手の方たちに引き継いでいただきたいという想いが強くあります。地区の仕事をまず手伝っていたら、徐々に仲良くなっていく中でお互いの理解を深めていければと思います。そして、活動の中に入って行事を盛り上げていただければ、非常に嬉しいです。子どもから高齢者まで、行事や取組を通して地区の交流があるほど、お互いが段々と寄り添っていけると思います。

行事紹介



きずな活動

地震等の災害による被害予防や減災活動を効果的に行うために、日ごろからの見守り活動の取組や、顔の見える関係づくりが必要になってきています。平成24年4月に地区連合自治会、地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員の共同による「第四地区のきずな」を立ち上げ活動を進めています。

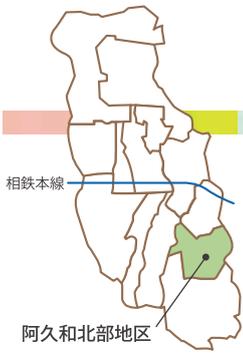
災害発生時の避難支援や要援護者の把握のための会員カードの作成、自治会役員・民生委員の連携による見守り活動等が行われています。



防災訓練

第四地区では以前から実施してきた各種防災訓練を見直し、その向上を図っています。特に災害時の要援護者救済については、連合自治会、自治会、第四地区社協が一体となって取組を始めています。具体的には、自治会ごとに支え合いカード等を活用し、見回り・見守り活動を行っています。

秋季防災訓練は東日本大震災以後、地区の方たちの震災への関心度が増し、400名を超える方が参加しています。また、地域の中学生も応援に駆けつけてくれています。



阿久和北部地区

「みまもりの家」と「長屋門公園」、二つを中心に地域交流もさかんに

地区の特色を教えてください。
 地区のほぼ中央に位置する、阿久和向原第二公園の一角に「みまもりの家」があります。この建物は、見守りの拠点として交流や情報の発信の場となるように、平成25年に建てられました。公園の中にこのような施設があるのは、横浜市で初めて。ここでは小さな子どもから、お年寄りまで幅広く利用でき、世代を超えて交流ができるところが魅力です。また、「長屋門公園」もこの地区ならではの味わい深い施設です。園内には江戸時代後期の古民家があり、囲炉裏、かまど、農機具などが保存されています。さらに湧水と杉林、四季折々の草花を楽しめる、野趣豊かな散歩道もあり、大変風情があります。



左から：相原 地区社協会長／高岩 地区連合会長／高橋 谷戸自治会会長／飯沼 地区社協事務局長

地区の将来像は？
 「みまもりの家」や「長屋門公園」など他地区にはない資産を活用しながら、住民同士が「向こう三軒両隣、お互いに助け合い、見守り合える関係づくり」を軸としたこれまでの活動を継続していくことが大事だと思っています。子どもから高齢者まで「ここが自分のふるさとだ」、「住んでいて良かったな」と思える地区にしていきたいです。

力を入れている行事や取組はありますか？
 毎年、7月第1土・日曜日に「七夕灯籠祭り」を三ツ境地区と合同で行っています。三ツ境駅前から手作りの灯籠が93基ほど並びます。そのうち、400基の灯籠は原中学校美術部の生徒たちの手で、阿久和向原第二公園に配置、デザインされます。光と影の幻想的な光景は圧巻です。また、この灯籠は、中に入れる蝋燭も含め、全て阿久和北部連合のボランティア団体である「おやじの広場」のメンバーの手作りです。そのほか、子どもたちの見守り活動と地域の交流を兼ねた「こども食堂・大カレーパーティー」を開催しています。現在、お笑い芸人を呼ぶなどして趣向を凝らし、人気イベントになっています。そして平成30年から、高齢者などの買い物困難者の支援事業として、「移動販売車のサービス」もスタートしました。

行事紹介



見守り合いの集い

「向う三軒両隣、誰もが見守りあえ、助け合える地域づくり」を目指し、普段からどんな心構えを持っていないかを確認するため、毎年11月第1日曜日に「見守り合いの集い」を開催しています。福祉や防災に関連したテーマの講演会を中心に、地域に関連する53団体の活動紹介パネル展示、模擬店、音楽やダンスの披露、小中学校の生徒から募集した標語や作文発表、子どもを対象としたあそびのフェスティバルなど、さまざまな交流イベントを行っています。



長屋門公園を利用する地区イベント

夏休み最後の土曜日の夜、長屋門公園の前庭で子ども向けの映画会を開催しています。18時からカキ氷やポップコーンなどが無料でふるまわれ、ミニゲームの成績でお菓子もゲットできます。屋外でみんなと一緒に映画を見るという貴重な機会を皆さん楽しみにしています。

また、9月の敬老の日前後に「敬老寄席」を開催しています。真打の落語家や講談師の演目を間近で見られるまたとない機会です。お年寄りの方に限らず地域の方ならどなたでも参加することができます。



わたしたちのまず 瀬谷

小中学生グループワークを実施しました

令和元年7月17日、瀬谷の子どもが考える瀬谷の今と未来を知るため、区内小中学校代表者の皆さんとグループワークを行いました。

参加者を5つのグループに分け、それぞれで異なるテーマ（「瀬谷のここが自慢」「瀬谷がこんなまちになったらいいな」「あったらいいな、こんなイベント」「せやっこいいところ」「いま私が夢中になっていること」）の壁新聞を作成しました。新聞記者になったつもりでお互いに取材を行いながら、記事づくりに取り組みました。

担当テーマについて、お互いに取材



取材したメモをもとに記事を構成



手形で区の木「ケヤキ」を表現



各グループの記事を合体して一枚の新聞に



みんなで感想を共有





瀬谷のここが自慢

長屋門、豊かな自然、イベント



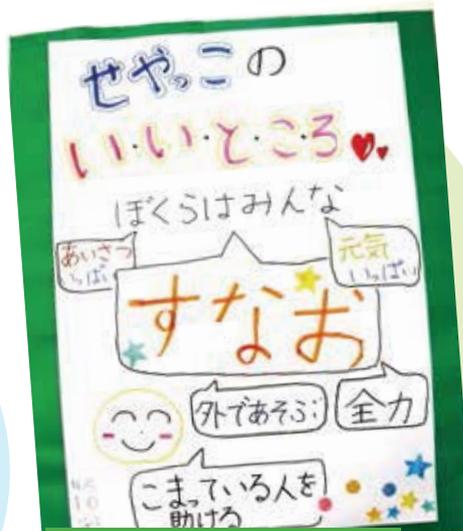
いま私が夢中になっていること

ゲーム、読書、部活、歴史 など



瀬谷がこんなまちになったらいいな

地域との交流がある、いじめがないなど



せやっこのいいところ

すなお、元気いっぱい など



あったらいいな、こんなイベント

花火大会、音楽祭、他校との運動会 など



[参加者(敬称略)]

原小学校 原杷美花/上瀬谷小学校 猪股らん/瀬谷小学校 小原奈々/相沢小学校 長洲佐和/瀬谷第二小学校 飯島遥香/二つ橋小学校 大内一花/三ツ境小学校 吉積柊吾/南瀬谷小学校 前田香利奈/大門小学校 福島菜緒/瀬谷さくら小学校 郡綾花/阿久和小学校 レミン/瀬谷中学校 重原和輝/南瀬谷中学校 石田亜瑚/原中学校 武田桜弥/東野中学校 小笠原凜太郎/下瀬谷中学校 谷内田陽菜

未来へ向け、 花と緑あふれるまちに

二つ橋高等特別支援学校は瀬谷区役所とともに、花・緑あふれるまちづくりを進めています。
生徒が緑の大切さを学びながら、区内の緑化を支えています。

苗作り

学校の敷地や公園に咲いているローズマリーやアジサイから、挿し木をして苗を作っています。育てた苗は瀬谷フェスティバルで区民の皆さんに配布しています。



大花壇 植え込み

令和元年9月には、区制50周年を記念した大花壇を瀬谷駅北口駅前広場に作りました。区民ボランティアの協力を得ながら、花苗の植え込みを行い、見る人の心を和ませる素敵な花壇が完成しました。





未来への想い、 瀬谷への想いを込めて

30年前のタイムカプセルオープン



30年前の平成元年、瀬谷区制20周年記念事業で「瀬谷区の未来」をテーマに、区内の小中学生から募集した絵画や文集560点をタイムカプセルに保管し、区制50周年で開封することとしていました。令和元年6月2日、大人になった当時の子どもたち36人とその家族が集まり、ついにカプセルを開封！懐かしい作品や友人との再会で、会場には笑顔が溢れました。

寄せられた メッセージ

※学校名は、御本人の当時の学校です。

横浜市の西の玄関口「瀬谷」。
相鉄線の都心直通の波に乗って、今後益々
発展していくことを期待しています。
(瀬谷第二小)

初めて作品が選ばれ嬉しかったことを覚えています。この絵のお陰で自信を持ち、今も『やりたい』と思ったことは、全て達成するよう行動しています。この絵を描いた想いと喜びは今も変わらず私の大事な資産になっています。
(南瀬谷小)

当時はタイムカプセルに入れる作品に選ばれたことが嬉しく心躍ったことを思い出します。子どもも「瀬谷は良い所だね」と話しており、変わらぬあたたかい地域行事のあるこの町に住み続けていきたいと思っています。
(下瀬谷中)

区制50周年おめでとうございます。
20周年記念で行った駅伝大会を思い出し、懐かしくなりました。
これからも緑多い素敵な町でありますように、と願っております。
(下瀬谷中)

瀬谷区制50周年おめでとうございます。現在海外在住で式典には参加できませんが、記憶の彼方のタイムカプセルと言う夢のある話に大変わくわくしています。自然豊かで心がほっこりする瀬谷。大好きです。
(上瀬谷小)



記念事業のテーマ

みんながつながる 子どもから大人まであらゆる区民が参加し、つながる瀬谷区

みんなに つたわる これまでの50年の歩みをつたえ、つたわる温かな瀬谷区

あしたに つなげる あしたに向けて 魅力をつなげる瀬谷区

キャッチフレーズ

思い出も 未来も共に この瀬谷で

キャッチフレーズに 込められた想い

共に暮らし、共に育ち、
夢を語り合える人がそばにいる
助け合い、見守る人がいる。
この街の暮らしは“人”にあたたかい
このキャッチフレーズには
そんな想いが込められています。



からだまるごと健康フェアの様子

小学生から80歳代まで、多くの方にご応募いただいた中から、①「瀬谷区制50周年記念事業のテーマ」に沿っているもの、②瀬谷区が感じられる作品であること、という観点で選考しました。

その結果、区内在住の廣木理英さんの作品を選出し、平成30年6月3日(日)に開催した、「第4回瀬谷区からだまるごと健康フェア」のオープニングセレモニーにおいて発表しました。

ロゴマーク

瀬谷区制50周年の記念事業に活用し、瀬谷区全体で盛り上げるため、瀬谷区マスコットキャラクター「せやまる」と区の花アジサイを組み合わせたロゴマークを作成しました。



50周年記念ロゴ

50周年記念事業の概要

瀬谷区制50周年を区民の皆さんとお祝いするため、地域・関係団体・学校・事業者・行政によって構成された「瀬谷区制50周年記念事業実行委員会」を設立しました。実行委員会では記念事業を行うにあたり「記念事業のテーマ」を定め、これに沿って事業に取り組んできました。また、キャッチフレーズやロゴマークを活用することで、一体感のある記念事業を行うことができました。

PRツール

カウントダウンボードと懸垂幕・横断幕を区役所に設置しました。公共施設や自治会・町内会、商店街、イベント等では、のぼり旗がはためき、区内を賑やかに彩りました。

また、オリジナルグッズを作成し、区民の皆さんにお配りしました。



クリアファイル



シール



うちわ



カウントダウンボード



のぼり旗



懸垂幕

応援ソング



10月5日に行われたニッ橋公園イベントで、応援ソングに合わせて踊る子どもたち

瀬谷第二保育園の発案により、瀬谷区制50周年を応援する楽曲「そらと はなときみと てと」を作成しました。この楽曲は、同保育園の中田保育士が、子どもたちや保護者の皆さんに、瀬谷の良いところや思い出のエピソードを募集して、歌詞を作り、作曲したものです。50周年をPRする目的で自由に使っていただくことができ、さまざまな場面で活用されました。

応援ソング

そらと はなときみと てと

作詞・作曲 中田美和子

そらにはとり はなにはむしたち
 きみにはほく てをつなごう
 そらにはほし はなにかせそよぐ
 きみにはわたし てをつなごう
 めをとじれば なつかしいみち
 あじさいは いまも きれいろいろ
 せやー せやー せやー せやー
 ずっとずっと つづいてきた このまち
 おもいでとともに
 みらいへのいっほ きみといく
 そらにはほし はなにかせそよぐ
 きみにはわたし てをつなごう
 つばさとして しんこきゅうしてたら
 しずかなみずべで おながが
 おしりふりふり おしりふりふり
 おしりふりふり
 ずっとずっと つづいてきた このまち
 おもいでとともに
 みらいへ きみといく
 ずっとずっとつづいてきた はぐくまれてきたまち
 おもいでとともに
 みらいへのいっほ きみといく

記念式典

【第一部】記念式典(10時から12時まで)

実行委員長、瀬谷区長からの挨拶のほか、御来賓の方からの御祝辞、瀬谷区ゆかりの皆さんからいただいたメッセージの御紹介などを行いました。また、30年間タイプカプセルに保管されていた、「瀬谷区の未来」を描いた絵画が披露されました。

記念講演では、様々な地図から見えてくる瀬谷の特色、魅力と歴史をお話いただきました。



式典の様子



I Love 瀬谷区メッセージ



記念講演講師
日本地図センター 相談役
田代博さん



区制20周年記念事業で作成した
タイムカプセルの中身を公開

【第二部】記念コンサート(14時から16時まで)

瀬谷区出身のサクソフォン奏者、田村哲さんによるリサイタルが行われました(ピアノ：川岸麻理さん)。コンサートの後半には、田村さんの母校である瀬谷中学校吹奏楽部の皆さんとの共演もあり、公会堂に華やかな音色が響きました。



魅力あふれる音楽と軽妙なトークで
会場が沸きました



田村さんの母校である
瀬谷中学校の生徒との共演



アンコールは会場の方々と
「故郷」の大合唱

令和元年10月5日(土)、瀬谷公会堂及び二ツ橋公園を会場として記念式典と二ツ橋公園イベントを開催しました。天候にも恵まれ、多くの方に御来場いただきました。

記念式典・二ツ橋公園イベント

ニッ橋公園イベント（10時から14時まで）

子どもから大人まで誰もが参加でき、楽しみながらお祝いできるイベントを開催しました。クラフト制作や工作、昔あそびやアスレチック、福祉事業所や地域ケアプラザ等の製品販売など、ブースが盛りだくさん！ステージは歌やダンスの発表で盛り上がり、みんなで楽しめるイベントになりました。



会場の様子



ステージの様子



アスレチックは子どもに大人気



せやまるも登場！

バルーンリリース

瀬谷区の発展と区民の皆さんの幸せを願って、バルーンリリースを行いました。カラフルなバルーンは風に乗って、青い空高く飛んでいきました。



記念植樹

ニッ橋公園内に「ヨコハマヒザクラ（横浜緋桜）」を植樹しました。子どもたちにも、未来に想いを寄せてお手伝いいただきました。春に鮮やかな紅色で大輪の花を咲かせます。



オリジナル フレーム切手の販売

瀬谷区制50周年を記念して、日本郵便株式会社と共同でオリジナル フレーム切手を作成し、販売しました。切手は、区内の風景や区の花アジサイ、区の鳥オナガなど、区民の皆さんが撮影した写真で構成され、瀬谷の四季折々の魅力あふれる切手となりました。

6月2日に開催した「第5回瀬谷区からだまるごと健康フェア」オープニングセレモニーの中で郵便局から実行委員会への贈呈式が行われました。その後、同イベント会場内の販売ブースは、記念切手を求める多くの来場者で賑わいました。



実行委員会主催の取組

50周年記念事業の概要

記念式典・ニッ橋公園イベント

実行委員会主催の取組

共催事業・後援事業

瀬谷区制50周年記念事業実行委員会として記念事業を盛り上げるため、さまざまな取組を行いました。区内外の方に瀬谷区の魅力を広くPRすることができました。



出張!なんでも鑑定団 in横浜・瀬谷区 [9月8日]

テレビ東京の人気番組「開運!なんでも鑑定団」の出張公開収録が、9月8日に瀬谷公会堂で行われました。同番組は古美術や玩具など個人が所有する「お宝」を、専門家が鑑定して値段をつけるというテレビのバラエティ番組で、毎週火曜日に放送されています。全国各地に向く「出張鑑定」は、同番組内における人気コーナーの一つです。お宝応募品数323品、観覧希望者数4,711人と、収録前から区民の皆さんの注目度の高さがうかがえました。

当日は鑑定士の中島誠之輔さん、北原照久さん、竹内俊夫さんが登場。高額なお宝が出るなど、会場は大盛り上がりでした。

11/19
放送



リアル宝さがし [10月1日▶12月1日]

ともに区制50周年を迎えた瀬谷区と旭区が連携し、宝さがしイベントを開催しました。参加者は宝の地図を頼りに、謎を解きながら区内の名所・旧跡や商店街などを巡り、宝箱を探しました。相鉄ロックオンミュージック2019とコラボしたことで、区民だけでなく区外、市外の方々も多く参加されました。



瀬谷フェスティバル特別ステージ [10月20日]

旧上瀬谷通信施設のはらっぱで開催された区内最大のイベント「瀬谷フェスティバル」で、区制50周年特別ステージを行いました。横浜市ゆかりのアーティストMay J.さんのパワフルかつ澄んだ歌声で、会場が熱気に包まれ、皆さんに楽しんでいただきました。



区民DAY・区民優待デーの実施 [10月・11月]

横浜のプロサッカーチーム横浜FCと連携した「区制50周年記念あさひ・せや区民DAY」や横浜にぎわい座で「横浜にぎわい寄席 瀬谷区民優待デー」を実施しました。区民DAYでは、区民1,000人ご招待のほかエスコートキッズなどの区民特典があり、にぎわい寄席は区民優待価格で楽しめて、思い出と記憶に残る記念イベントとなりました。



横浜FCの試合 エスコートキッズ

せやまるモニュメント

区のマスコットキャラクター「せやまる」のモニュメントを作成しました。区役所1階入口の前で来庁者の皆さんをお迎えます。

瀬谷区制50周年をみんなでお祝いしました!

共催事業

50周年を記念して行う新たな取組を支援しました。
また、区内で活動する団体の皆さんが行う競技大会等において、
瀬谷区制50周年を記念した賞を新設、授与して
会場を盛り上げました。

トップアスリートとのふれあい事業 in瀬谷区マラソン大会

開催日 1月20日
場 所 瀬谷中学校
主 催 瀬谷区体育協会

瀬谷区のスポーツ振興の一環として、第49回瀬谷区マラソン大会に瀬谷区出身の多川知希選手(陸上リレー・パラリンピックメダリスト)と横浜市在住の長谷川大悟選手(陸上三段跳び・オリンピック)をお招きし、参加選手とのふれあいや熱い声援を送っていただきました。



第15回瀬谷かるた大会

開催日 1月27日
場 所 瀬谷センター体育館
主 催 瀬谷区青少年指導員連絡協議会

瀬谷歴史かるたを使用し、学びながら楽しめる「瀬谷かるた大会」を開催しました。

瀬谷の歴史を子どもたちへ伝えることを目的とした本大会。今回は瀬谷区制50周年を記念して「瀬谷区制50周年記念ラッキー賞」を設けました。



瀬谷の民話&ハレルヤの区民100人合唱

開催日 2月17日
場 所 瀬谷公会堂
主 催 50th区民合唱団「Harmonie♪SEYA」
実行委員会

公募により結成された100人の区民合唱団。歌で50周年を祝おうと心をつなげて練習に励み、「輝く!せや!ひと!フェスタ」内のステージで、瀬谷の民話やハレルヤコーラス等を歌いました。会場は熱気に包まれ「ブラボー」の声が飛び交いました。



共催事業・後援事業

区内で活動する団体の皆さんが、多くの区民を対象に実施する事業を、瀬谷区制50周年記念事業実行委員会が応援しました。これらの事業により、区制50周年を区民の皆さんと一緒に盛り上げることができ、地域への思いをより深めることができました。

みやざわスタンプラリー

- 開催日** 4月～12月
場所 宮沢連合自治会内
主催 宮沢連合自治会

イベントの多い宮沢地区の特徴を活かし、年間を通してスタンプラリーを実施しました。また、スタンプカード、景品のクリアファイルも50周年記念用にデザインし、盛り上げの一端を担いました。



第98回区民野球大会

- 開催日** 4月14日～8月4日
場所 上瀬谷球場、本郷公園野球場
主催 瀬谷区野球協会

幅広い年齢層別（16歳～70歳超）に行われる大会を通じて、軟式野球愛好家相互の親睦を図りました。区制50周年記念トロフィーを授与することで、思い出深い大会となりました。



手作り鯉のぼりの掲揚で 50周年記念を祝う事業

- 開催日** 4月13日～5月5日、9月20日～10月18日
場所 境川中島橋 ほか
主催 せや かつぱの会

端午の節句に合わせ、地域の皆さんの手で作られた色鮮やかな鯉のぼりが、境川の空を彩りました。また、区制50周年記念日の前後1ヶ月間で、相鉄ライフ三ツ境店、瀬谷区役所、せやまる・ふれあい館において展示を行いました。



本郷地区スタンプラリー

- 開催日** 5月～11月
場所 大門小学校、日枝社、本郷公園 ほか
主催 本郷地区連合自治会

本郷地区連合自治会が実施する8つのイベントの参加者を対象にスタンプラリーを行い、約1,500人の参加がありました。イベントに参加するごとにスタンプが押され、3個以上集めた方には、11月の「ふれあい文化祭」で素敵な参加賞がプレゼントされました。



あくわの空たかく飛ばそう・紙ヒコーキ大会

開催日 5月12日

場所 原小学校

主催 阿久和南部連合自治会

自分で作った紙ヒコーキを体育館で飛ばし、到達距離を測定。より長距離を飛ばすことができた方を表彰しました。親子連れや中学生ボランティアの参加もあり、地域交流の輪を広げるきっかけとなりました。



記念講演と武芸合同演武大会

開催日 5月12日

場所 瀬谷公会堂

主催 瀬谷区商店街連合会

横浜と瀬谷区の未来をテーマに講演会を行いました。また、瀬谷区内で活動する、武道団体と芸能団体が合同で、技を披露しました。地域に広くアピールすると同時に、各団体の普及発展につながる大会となりました。



WE LOVE せや ～発達障害キャリア教育推進シンポジウム

開催日 6月3日

場所 瀬谷公会堂

主催 スタイルきつず

基調講演やトークセッションを行い、みんなが笑顔になれる瀬谷区の特徴を生かした地域での子育て、人育ての可能性を提案しました。また、瀬谷区で音楽教育・子育て支援・スポーツ支援などに取り組んでいる施設や団体等を紹介しました。



ふるさと瀬谷の風景50選展

開催日 9月21日～10月18日

場所 三ツ境相鉄ライフ、瀬谷区役所、せやまる・ふれあい館

主催 瀬谷をふるさとにする会

区内小中学校13校と養護学校3校の協力により、区内の50の写生ポイントを選定し、それで描かれた児童生徒の300点程の絵画が展示されました。瀬谷の素晴らしい自然や文化遺産を描くことで、児童生徒の胸中には瀬谷をふるさとと思う気持ちが焼き付けられます。



「みんなで育てよう 暮らしやすいまち みなみせや」 講演会

開催日 7月6日

場 所 南瀬谷中学校

主 催 南瀬谷地区地域福祉保健計画推進協議会

外部講師を招いての講演会を開催しました。
「みんなで育てよう 暮らしやすいまち みなみせや」のキャッチフレーズのもと、南瀬谷地区の活動の現状を情報交換し、今後の活動のヒントを得る場となりました。



瀬谷区ソフトボール選手権大会

開催日 7月14日から約一か月間

場 所 上瀬谷球場ほか

主 催 瀬谷区ソフトボール協会

瀬谷区内在住・在勤・在学者のチームが出場できるソフトボール大会。今大会は50周年を記念して、各チームに50周年オリジナルロゴマークとチーム名入りのバックが授与されました。



みんな集まれ～細谷戸夏まつり

開催日 8月3日

場 所 細谷戸第一集会所

主 催 細谷戸連合町内会

地域の皆さんが集まる「細谷戸夏まつり」で、区制50周年を記念し、次世代を担う子どもたちが未来に向けて夢と希望をもち、地域に愛着をもってもらえるよう、大空に風船を飛ばしました。また、バルーンアートも作成し、子どもから大人まで楽しみました。



第41回瀬谷区バレーボール大会 女子オープン戦・男子リーグ戦

開催日 8月11日

場 所 瀬谷スポーツセンター

主 催 瀬谷区バレーボール協会

一部、二部の壁を取り除き、オープン参加にした今大会は女子17チーム、男子5チームの参加になりました。参加チームの中から女子3チーム、男子1チームに記念ボールが贈呈されました。



みんなで作ろう!!「せやっこパーク」

開催日 10月5日

場所 二ツ橋南公園

主催 こどものもりプレイパーク

瀬谷に住む多くの子どもたちや保護者、地域の人々が自由に集える屋外の遊び場を作り、瀬谷の自然を感じながら遊ぶことができました。みんなで力を合わせて秘密基地作りにもチャレンジしました。



第51回相沢秋季大運動会(区制50周年記念大会)

開催日 10月6日

場所 瀬谷小学校

主催 相沢町内連合会

子どもから大人まで相沢連合地域のみんなが参加し、「つながる」ことにより、共に区制50周年を祝い、地域の交流を図るため、特別プログラムとして、「町内対抗玉入れ」に50周年玉(青)を用意し戦いました。参加者の心に残る競技を行い、素敵な思い出ができました。



瀬谷第四地区レクリエーション大会

開催日 10月14日

場所 二ツ橋小学校

主催 瀬谷第四地区連合自治会

瀬谷区制50周年を周知するとともに、競技を通じて参加者全員で「区制50周年を祝うバルーン装飾」や「瀬谷区制50周年記念杯争奪競技 フラフープリレー及びデカパン・リレー」を実施しました。



三ツ境地区レクリエーションにおける “瀬谷区50年の歴史クイズ大会”

開催日 10月14日

場所 三ツ境小学校

主催 三ツ境連合自治会、三ツ境地区社会福祉協議会

三ツ境の小学生が区制50周年記念お祝いメッセージや将来の夢を描いた手紙を付けた風船を飛ばしました。また、瀬谷区50年の歴史クイズ大会が行われました。瀬谷区及び三ツ境地区に愛着を抱き、誰もが安心して、自分らしく暮らせる地域づくりに目を向けてもらえるようなイベントになりました。



抽選会in第2回上瀬谷小フェスタ

- 開催日** 10月26日
場所 上瀬谷小学校、上瀬谷町内会館
主催 上瀬谷小学校PTA

地域の各種団体と協働で開催している上瀬谷小フェスタにおいて、特別スタンプラリーを行いました。集めたスタンプ数に応じて、50周年ならではの特別お楽しみ抽選会に参加でき、参加者には素敵な景品をプレゼントしました。



ポリオ根絶運動 映画「ブレスしあわせの呼吸」上映会

- 開催日** 10月6日
場所 瀬谷公会堂
主催 横浜瀬谷ロータリークラブ

ポリオ根絶運動について、映画を通して明日への希望や家族のつながりの大切さを伝えました。

映画鑑賞の前には区制50周年記念のセレモニーも行いました。ポリオ根絶運動の意義と現状を理解する良い機会となりました。



第47回文化祭 "文化の伝承と人々のふれあい"

- 開催日** 11月2日・3日
場所 瀬谷第二小学校
主催 瀬谷第二地区連合自治会

毎年、世代を問わず多くの皆様による絵画、陶芸、写真、書道、生け花などの作品が所狭しと展示され、力作をお楽しみいただいています。今回は、区制50周年を記念した、墨笑や生け花教室、御来場の皆様共同による生け花などで、大いに盛り上がりました。



見守り合いの集い

- 開催日** 11月3日
場所 原中学校
主催 阿久和北部連合自治会

2度の震災を経験した防災の専門家を招き、基調講演を行いました。地域のつながりや絆を強め、助け合いの出来る近所づきあいをすることを再認識し、地域の魅力を未来につなげていくイベントとなりました。



大抽選会in第28回瀬谷ふるさとウォーク大会

開催日 11月24日

場所 二ツ橋公園～いずみ中央駅
～湘南台公園～新江ノ島水族館

主催 瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会

瀬谷ふるさとウォーク大会は、瀬谷区恒例のウォーキングイベントです。今年は区制50周年を記念して、ゴールを新江ノ島水族館に変更し、さらに、新江ノ島水族館のチケットが当たる「50周年記念大抽選会」を開催しました。思い出に残るイベントとなりました。



「津軽三味線の音色とともに」 ～交流フェスティバル～

開催日 12月14日

場所 県立瀬谷養護学校

主催 交流フェスティバル実行委員会

特別支援学校の体育館を利用し、プロによるステージコンサートを行いました。障害者福祉への理解、啓発を進め、みんながつながり、広く「50周年のお祝い」をすることを目的として実施されました。



クリスマス会

開催日 12月21日

場所 瀬谷四丁目公園

主催 瀬谷第一地区連合町内会

テーマは「住民が一つになって楽しんでもらい、瀬谷区制50周年を祝う」でした。200名を超える皆さんに参加いただき、各ゲームに一喜一憂しました。お年寄りの笑顔や子どものはしゃいだ様子、お父さん・お母さんの笑顔に連合町内会の絆を感じた一日となりました。



社会福祉施設トイレマップ

発行日 令和2年1月

場所 社会福祉施設分科会各施設ほか

主催 横浜市瀬谷区社会福祉協議会社会福祉施設分科会

「障がいのある方や御高齢の方、小さいお子さんをお連れの方が外出できるようにしたい」という思いから、区内の社会福祉施設が協力し『福祉施設のトイレマップ』を作成しました。瀬谷区全域で多目的トイレが利用できる施設を紹介しています。



天候不良のため残念ながら中止になった事業

第41回レクリエーション大会 主催 瀬谷北部町内連合会

区制50周年記念特別参加事業として「就学前児童50名競争」と「老人会・敬老会50名踊り」がプログラムに加わりました。子どもから大人まであらゆる区民が参加できる特別種目を行う予定でしたが、台風19号の影響で中止となりました。

瀬谷区制50周年をみんなでお祝いしました!

後援事業

区内で活動する団体の皆さんが行う共催以外の事業において、名義の使用や記念グッズのプレゼントを行いました。

瀬谷の歴史自然等探訪ウォークと記録誌発行事業

開催日 4月1日～3月30日

場所 瀬谷区内

主催 せや・ガイドの会

『幸せを実感できる瀬谷づくり』を推進している瀬谷区のふるさとを愛する心や文化向上の協力者として、瀬谷の歴史自然等探訪ウォークと記録誌「わがまち瀬谷」を発行し、瀬谷の歴史や自然、見どころを発信しています。



瀬谷5川めぐり ～ふるさと瀬谷の憩いの5川を巡るウォーク～

開催日 4月20日

場所 瀬谷区内

主催 瀬谷水緑の健康ウォークサポーター会

瀬谷区を流れる5つの川を巡るウォークイベントを開催しました。長屋門公園など、区内のさまざまな地域を歩く12kmのコースで瀬谷区の魅力を感じ取ることができました。阿久和川の源流であった「かまとり池」の紙芝居の上演も好評でした。総勢137名で歩きました。



子どもスポーツフェスティバル

開催日 5月18日

場所 瀬谷中央公園、子どもログハウス

主催 特定非営利活動法人 区民施設協会・せや
瀬谷中央公園子どもログハウス

参加した子どもたちは思い切り体を動かし、ストラクアウト、ポッチャ、新聞プールなどのスポーツを楽しみました。また、50周年記念人文字写真を撮影し、みんなで区制50周年をお祝いしました。



七夕灯籠祭り ～復興祈願～

開催日 7月6日・7日

場所 長屋門プロムナード、長屋門公園、向原第二公園

主催 七夕灯籠祭り実行会

三ツ境駅前から長屋門公園周辺まで約1,500mの区間に930基の手作り灯籠が並び、まちが光と影の幻想的な雰囲気になりました。昼間には「さとまつり」を開催し、模擬店やステージで賑わいました。また、地域で義援金を募り復興支援として寄附しました。



第四地区10周年記念NHK ラジオ体操

開催日 8月25日

場所 区役所前広場、二ツ橋公園

主催 瀬谷第四地区社会福祉協議会

瀬谷第四地区の各地域で、早朝にラジオ体操等の運動を行う「介護予防運動(元気塾)」を実施して10年目を迎えました。元気に楽しく、老後を過ごすそうと、瀬谷区50周年記念事業にあわせて、全員参加の記念体操イベントを行いました。



瀬谷区の水・緑の自然環境に関わる 保全・再生活動記録展

開催日 9月24日～10月7日
場所 区役所2階区民ホール
主催 特定非営利活動法人 楽竹会

竹工芸品・ひょうたん工芸品・昆虫標本・無患子(むくろじ)工芸品等を展示しました。竹工芸品は子どもたちに昔あそびとして喜びを感じてもらうために、ひょうたん工芸品・無患子工芸品は装飾品として感動と心を癒してもらうために工夫を凝らして制作しました。



瀬谷区美術展

開催日 9月24日～10月7日
場所 区役所2階区民ホール
主催 瀬谷区美術展実行委員会

区制50周年を瀬谷区民全体でお祝いできるよう、子どもから大人まで幅広い年代の方々に絵付けをしてもらった凧を、区役所2階区民ホールに展示しました。約200点の個性豊かな力作が、瀬谷区制50周年を盛り上げました。



地図で辿る瀬谷区の移り変わり

開催日 10月20日、11月23日
場所 中屋敷地区センター、瀬谷地区センター
主催 横浜・瀬谷地図くらぶ

まちの事はじめ講座「瀬谷とコジュケイの話、瀬谷の民話のふるさとを探る、神中線(現相模鉄道)の沿線案内～瀬谷近辺の牡丹園・道楽園・乳出神様～、瀬谷の地名あれこれ」を行いました。聴講者からはさらに地域のことを知りたくなったとの感想を多くいただきました。



瀬谷区民100人でベートーヴェンの第九を歌おう

開催日 12月15日
場所 瀬谷公会堂
主催 音楽のまちSEYA実行委員会

奥村伸樹氏率いるオーケストラ&ソリスト&50thSEYA第九合唱団による「第九メモリアルコンサート2019」を開催しました。奥村マジックで出演者、来場者はワンチームとなり、会場は感動の渦に包まれました。時は令和、瀬谷にクラシック・マチネの幕が上がりました。



瀬谷区制50周年記念事業に御協賛いただいた皆様 御協力ありがとうございました

記載の皆様以外にも多くの方から御協賛をいただいております

[50音順・敬称略]

団体

親和興業 株式会社 特定非営利活動法人 瀬谷丸

川口工業 株式会社 特定非営利活動法人 区民施設協会・せや

株式会社 青武組 瀬谷区薬剤師会

相鉄ホールディングス 株式会社 露木興業 株式会社

一般社団法人 横浜市瀬谷区医師会 横浜瀬谷ロータリークラブ

横浜農業協同組合 特定非営利活動法人 楽竹会

株式会社 アイシマ

小沢歯科医院

軽費老人ホーム睦荘

医療法人 産育会 堀病院

瀬谷区獣医師会

瀬谷区役所 責任職一同

瀬谷歯科医師会

株式会社 テイクフォー

二ツ橋南部自治会

一般社団法人 保土ヶ谷青色申告会

株式会社 柳沼建設

横浜西部工業会

株式会社 連合社印刷

阿久和地区センター

神奈川農産工業 株式会社

小島造園 株式会社

瀬谷安全運転管理者会

瀬谷区商店街連合会

瀬谷交通 有限会社

瀬谷センター

東京ガス株式会社 神奈川支社横浜支店

株式会社 芙蓉ビデオエージェンシー

三ツ境交通 有限会社

一般社団法人 横浜建設業協会瀬谷区会

横浜瀬谷ライオンズクラブ

株式会社 オオスミ

恵積興業 株式会社

特定非営利活動法人 さくらんぼ

瀬谷火災予防協会

瀬谷区役所 職員有志

瀬谷交通安全協会

瀬谷地区警察官友の会

株式会社 ひとはな

特定非営利活動法人 ふるさとホーム瀬谷

三菱地所コミュニティ 株式会社

横浜商工会議所 西部支部

横浜隼人中学高等学校

株式会社 相生
相沢町内連合会
阿久和南部地区スポーツ推進委員連絡協議会
阿久和北部地区社会福祉協議会
東町町内会
イシケンスポーツ瀬谷店
医療法人 大空会 瀬谷医院
神奈川県行政書士会旭支部
株式会社 共立
さくら会
下瀬谷第三町内会
城南信用金庫瀬谷支店
瀬谷駅南口第1地区市街地再開発組合
瀬谷区子ども会育成連絡協議会
瀬谷区小学校校長会
瀬谷区食品衛生協会
瀬谷区体育協会
瀬谷区防犯協会
瀬谷区陸上競技協会
瀬谷職場警察連絡会
瀬谷第一地区連合町内会
瀬谷第二地区青少年指導員連絡協議会
瀬谷第四地区青少年指導員連絡協議会
瀬谷中央公園こどもログハウス
瀬谷理容組合
有限会社 タチバナ薬局
社会福祉法人 同塵会横浜市下瀬谷地域ケアプラザ
中屋敷地域ケアプラザ
株式会社 日本レストランエンタプライズ
橋戸原自治会
株式会社 ハリマビシステム
ひらの矯正歯科
富士見自治会
平成絵手紙塾
細谷戸商振会自治会
細谷戸地区民生委員児童委員協議会
細谷戸ハイツ第六自治会
堀江造園 株式会社
本郷地区社会福祉協議会
医療法人社団 美里会 瀬谷ふたつ橋病院
三ツ境地区民生委員児童委員協議会
南瀬谷自治連合会干池自治会
南瀬谷地区保健活動推進委員会
南台自治会
宮沢地区社会福祉協議会
有限会社 山沢衣料店
横浜市管工事協同組合瀬谷支部
横浜市二ツ橋第二地域ケアプラザ
横浜市幼稚園協会 瀬谷支部
横浜隼人幼稚園
社会福祉法人 若竹会 瀬谷愛児園

相沢地区社会福祉協議会
医療法人 愛生会 三ツ境病院
阿久和南部連合自治会
阿久和北部地区民生委員児童委員協議会
東町みのり会
市川運輸 株式会社
ガールスカウト神奈川第7団
川口白鳳 株式会社
銀
株式会社 ジェイコム湘南・神奈川かながわセントラル局
下瀬谷団地自治会
社会福祉法人 湘南遊楽会横浜市阿久和地域ケアプラザ
瀬谷区環境事業推進委員連絡協議会
瀬谷区シニアクラブ連合会
瀬谷区消費生活推進員の会
瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会
瀬谷区中学校校長会
瀬谷区民生委員児童委員協議会
瀬谷さくら小学校コミュニティ・スクール
瀬谷総合開発 株式会社
瀬谷第二地区社会福祉協議会
瀬谷第二地区民生委員児童委員協議会
瀬谷第四地区民生委員児童委員協議会
瀬谷北部町内連合会
相和会自治会
椿自治会
東都造園 株式会社
南栄自治会
認定こども園ニツ橋あいりん幼稚園
株式会社 ハミングス
ひかりこどもクリニック
廣松音楽事務所
ニツ橋北部自治会
ボーイスカウト横浜第61団
細谷戸第三自治会
細谷戸ハイツ第二自治会
細谷戸連合町内会
本郷第四すみれ会(老人会)
本郷地区保健活動推進委員会
三鈴興業株式会社(三ツ境自動車教習所)
三ツ境連合自治会
南瀬谷自治連合会富士見会
南瀬谷地区民生委員児童委員協議会
南台ハイツ自治会
宮沢地区民生委員児童委員協議会
幼保連携型認定こども園みなみ幼稚園
社会福祉法人 横浜市瀬谷区社会福祉協議会
横浜市二ツ橋地域ケアプラザ
横浜ステンレス工業 株式会社
楽老ハイツ自治会

相沢地区民生委員児童委員協議会
アクアテック 株式会社
阿久和北部地区環境事業推進委員連絡協議会
阿久和北部連合自治会
東野中学校コミュニティ・スクール
有限会社 インテリアあじろ
神奈川県間税会連合会 保土ヶ谷間税会
きたむら文具店
株式会社 小林園
清水小児科
社会保険労務士法人 閃光舎
スポーツクラブNAS瀬谷
瀬谷区更生保護女性会
瀬谷区障害者地域自立支援協議会
瀬谷区食生活等改善推進委員会
瀬谷区生活衛生協議会
瀬谷区文化協会
瀬谷区民踊協会
瀬谷シニアニツ橋地区
瀬谷第一地区民生委員児童委員協議会
瀬谷第二地区消費生活推進員の会
瀬谷第二地区連合自治会
瀬谷第四地区連合自治会
瀬谷保護司会
学校法人 大空学園横浜さがみ幼稚園
株式会社 露木板金
特別養護老人ホーム 相生荘
日鉄工営 株式会社
株式会社 ハクホウエンタープライズ
原中学校コミュニティ・スクール
ひなた山第一自治会
福田屋
ニツ橋楽老会
ホームドライ三ツ境店
細谷戸地区社会福祉協議会
細谷戸ハイツ第八自治会
公益社団法人 保土ヶ谷法人会
本郷地区シニアクラブ連合会
本郷地区連合自治会
水野理容館
南瀬谷自治連合会
南瀬谷小学校コミュニティ・スクール
南瀬谷ニュータウン自治会
南台ハイツB協議会
宮沢連合自治会
株式会社 横浜銀行瀬谷支店
公益財団法人 横浜市体育協会
横浜市民共済二俣川普及サービスセンター
学校法人 横浜中央学園ゆたか幼稚園
社会福祉法人 ル・プリくるみの森

個人

相原 健一	赤星 文夫	網代 宗四郎	有井 由紀	有賀 妙子	有田 峻之	飯田 耕治郎	飯沼 宏氏	石井 進	泉沢 克太郎	伊藤 美音子
伊藤 吉治	今泉 衛	今泉 美知夫	内山 功	海老澤 敏明	大岡 伶子	大柴 正清	大槻 杉則	大槻 洋子	大平 和子	大村 高
小川 智恵子	小川 肇	奥津 敏雄	小澤 明夫	金澤 凱夫	金子 一重	鎌形 史紀子	岸本 嘉章	北井 義	工藤 久	久保田 清
栗岡 美子	栗岡 守雄	小菅 久勝	後藤 啓一	小林 清春・和江	小松 昭仁	近 鈴枝	斎藤 静香	坂井 登	境 義弘	佐々木 新一
笹木 忠男	笹生 登	佐藤 忠行	澤田 高綱	澁谷 悦旦	白川 一義	菅原 金榮	菅原 孝四郎	菅原 治美	杉崎 多鶴子	鈴木 紀子
須藤 光広	高岩 敏和	高橋 三雄	竹上 艶子	玉井 真	寺田 富美雄	豊田 久子	中村 武昭	似田 昌広	野口 元	野々山 雄二
早川 俊行	平野 静男	平本 将空	福田 愛一郎	福田 征二	藤川 英二	藤代 睦夫	堀内 敦子	本田 建一	三浦 義雄	宮川 富美子
宮本 千秋	村上 由章	森 秀毅	諸橋 広樹	諸橋 政治	諸橋 真理子	八木 厚也	八木 智也	八木 美智子	薬師寺 えり子	安田 綾子
安田 忠信	安田 智子	山口 勇喜雄	悠木 真湖							

※氏名併記の場合は上段が前委員

【幹事会】

団体名等	氏名	役職	団体名等	氏名	役職
瀬谷第二地区連合自治会	網代 宗四郎	委員長	瀬谷区青少年指導員連絡協議会	高橋 三雄	幹 事
瀬谷フェスティバル実行委員会			瀬谷区スポーツ推進委員連絡協議会	土居 義彦	
区民施設協会・せや			飯沼 宏氏		
三ツ境連合自治会	諸橋 政治	副委員長	瀬谷区文化協会	小川 肇	
瀬谷区防犯協会			瀬谷区医師会	川口 浩人	
瀬谷北部町内連合会	奥津 敏雄	副委員長		太田 和代	
瀬谷区社会福祉協議会	福田 愛一郎	会 計	瀬谷区民生委員児童委員協議会	清水 靖枝	
瀬谷区商店街連合会	石垣 徳知	監 事	瀬谷区障害者地域自立支援協議会	紅林 千津子	
	伊藤 吉治			澤田 高綱	
瀬谷区シニアクラブ連合会	笹生 登	監 事	瀬谷区小学校長会	鈴木 正憲	
南瀬谷自治連合会	澁谷 悦旦	幹 事		瀬谷区中学校長会	
瀬谷区体育協会					

【委員】

団体名等	氏名	団体名等	氏名	団体名等	氏名
阿久和北部連合自治会	高岩 敏和	ガールスカウト代表	野本 千恵子	横浜市幼稚園協会瀬谷支部	水越 美果
阿久和南部連合自治会	北井 義	公益社団法人保土ヶ谷法人会 瀬谷支部連合会	遠藤 昇	瀬谷高等学校	岩崎 彰夫
瀬谷第一地区連合町内会	中嶋 幸江				石渡 江里子
		横山 正之	一般社団法人 保土ヶ谷青色申告会	平井 武男	瀬谷西高等学校
本郷地区連合自治会	上田 三郎	赤井 英明			
細谷戸連合町内会	大坪 陸男	瀬谷歯科医師会	丸山 泰治	横浜隼人中学・高等学校	吉野 純三
瀬谷第四地区連合自治会	大柴 正清		大内 昇	特別支援学校・養護学校	大森 富美雄
宮沢連合自治会	宮本 千秋	瀬谷区薬剤師会	松宮 敦	瀬谷スポーツセンター	和内 正也
相沢町内連合会	木村 一夫		石田 七瀬		中邨 啓二
瀬谷火災予防協会	川口 恭正	瀬谷保護司会	相原 明	瀬谷区内地域ケアプラザ	仁平 不二雄
瀬谷消防団	鈴木 政興		相原 健一	瀬谷区地域子育て支援拠点 「にこてらす」	立原 久美子
瀬谷区子ども会 育成連絡協議会	飯野 美智子	瀬谷区更生保護女性会	石川 伸子	横浜建設業協会瀬谷区会	武田 和親
		主任児童委員代表	森谷 薫		安西 利雄
瀬谷区消費生活推進員の会	岡本 公純	瀬谷区保健活動推進委員会	岸本 嘉章	横浜農業協同組合	安西 錠司
	祝 政法		安田 智子		
瀬谷区環境事業 推進委員連絡協議会	日永 秀喜	瀬谷区食生活等改善推進委員会	青木 広美	相鉄ホールディングス株式会社	上平 剛晴
			石川 みき子		山城 英哲
瀬谷交通安全協会	渋川 正継	瀬谷区獣医師会	原 和敏	相模鉄道株式会社	丹家 清一
横浜西部工業会 瀬谷支部	井上 博海		西原 勇人	相鉄バス株式会社	福田 有二
横浜瀬谷ロータリークラブ	長谷川 成人	瀬谷区食品衛生協会	近藤 裕行	神奈川中央交通株式会社	木村 秀昭
	井上 博海	瀬谷区生活衛生協議会	白川 敏雄	三ツ境交通有限会社	石川 治
横浜瀬谷ライオンズクラブ	小林 信宏	瀬谷区障害者団体連絡協議会	水田 哲也	瀬谷交通有限会社	益田 裕隆
	佐藤 康	瀬谷区PTA連絡協議会	東 圭	株式会社ジェイコム湘南・神奈川 かながわセントラル局	阿部 将也
ボーイスカウト代表	佐藤 忠行		成毛 順一		
	小田 秀一郎		志水 隆一		

【顧問】

役職	氏名
横浜市議員	川口 広
横浜市議員	花上 喜代志
横浜市議員	加納 重雄
	久保 和弘
神奈川県議会議員	田村 雄介

【参与】

役職	氏名	役職	氏名
瀬谷区長	森 秀毅	瀬谷区土木事務所長	近藤 博幸
瀬谷警察署長	佐藤 修		井上 義晃
	瀬谷消防署長	田島 充	資源循環局瀬谷事務所長
瀬谷区副区長		八弮 猛	澤野 仁晴
	瀬谷区福祉保健センター長	西川 浩二	水道局三ツ境水道事務所長
瀬谷区福祉保健センター担当部長		小澤 明夫	瀬谷区社会福祉協議会事務所長
	石原 孝	柴崎 浩志	
瀬谷区福祉保健センター担当部長	里見 正宏	区民施設協会・せや事務所長	工藤 久
	五十嵐 吉光		井原 周二
瀬谷区福祉保健センター担当部長	守屋 龍一	茂木 潤一	
	藤澤 智明		

写真提供 (敬称略)

●表紙右上から時計回りに

「錦秋の寺」徳善寺(山口 芳之) / 「雪の日の尾長鳥」瀬谷貉窪公園(山崎 忠重) /

「灯籠祭り」阿久和向原第二公園(本田 建一) / 「花と緑の通信隊跡地」旧上瀬谷通信施設海軍広場(小島 輝夫) /

「長屋門公園の紅葉の宴」長屋門公園(近藤 進) / 「金色が似合うお地蔵様」善昌寺(伊吹 節男) /

「めがね橋を彩る初夏のあじさい」和泉川めがね橋(高山 明弘) / 「今日もいつもの橋に集合!」和泉川(福元 俊介)

●目次 「上瀬谷の大地にかかった虹」旧上瀬谷通信施設付近(小島 輝夫)

●2ページ 「美しい空の下、白い富士を見る。」阿久和東付近(相澤 詔二)

●裏表紙 「桜の花園」海軍道路(三浦 良光)

デザイン

株式会社 オールスタッフ

印刷

株式会社 連合社印刷



令和2年3月発行

発行／瀬谷区制50周年記念事業実行委員会

〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町190
TEL.045-367-5611 FAX.045-366-9657